

緑のボランティア通信

2020.7.1

No.66

令和2年度

花と緑のまちづくり講座

受講生募集 参加費無料・定員30名 (応募多数の場合抽選)

緑化推進リーダー育成講座

今年度も9月から1月にかけて全6回の講座を開催します。これから緑のボランティア活動を始めようと考えている方から、すでに活動を行っている方が、花と緑の基礎知識を学び、花壇作りを実践しながら仲間づくりをしていく講座です。市内在住、在勤、在学で原則全6回出席できる方、ふるってご参加ください。

募集期間 令和2年7月1日(水)～8月11日(火)必着

応募チラシ(区役所、市民館などに配布。協会HPでもダウンロードできます。)の申請書を公園緑地協会あてに送付、FAXまたはメールで送付ください。

講座を通し、緑や花に対する意識が更に深まりました。

花と緑についての知識や実践が充実した内容で教えていただいて、本当に良かったです。

新しい仲間ができてうれしいです。

たくさんの有益な知識を教えてくださいました。活動しているクラブの中で役立てたいと思います。

自己流で花壇を作っていましたが、基礎から教えていただいたので、もっと美しい花壇が作れるような気がしています。

など

前回受講生の声

「第16回 わがまち花と緑のコンクール」について

市内の花と緑による美しい景観の発掘と紹介、花と緑を通して美しい潤いのある景観づくりに努め、活動している方々の交流を目的にコンクールを実施しています。今回は89件の応募をいただきました。

緊急事態宣言に伴い新型コロナウイルス感染症拡大防止のため審査及び表彰式は中止せざるをえませんでした。例年通り、全応募作品の写真を掲載した冊子「コンクール報告・花と緑のマップ」を作成しました。

各区役所等で配布しておりますので、是非ご覧ください。

また、来年度開催予定の「第17回わがまち花と緑のコンクール」に是非ご応募くださいますようお願いいたします。



目次

令和2年度「花と緑のまちづくり講座」受講生募集 / 第16回わがまち花と緑のコンクールについて	1
「活動支援・出前講座」のお勧め	2
活動団体訪問・自己紹介コーナー	3
flowerbed	4

「活動支援・出前講座」のお勧め

川崎市公園緑地協会では、緑の活動を支援するため交流事業や講座の開催、道具・図書の貸出し、登録団体への助成金の交付等、様々な支援を行っていますが、今回は出前講座（剪定講習会）を紹介します。

例年、6～7月には多くの公園緑地から「ツツジの剪定講習会」の要請があります。花木は花が咲き終わった直後が剪定の適期。特にツツジは翌年の花芽がすぐに形成されるので時期を間違えると、次の花が期待できなくなってしまいます。昨年、宮前区で道路公園センターと一緒に実施した剪定講習会の様子をお見せします。

現地のツツジは枝や葉が密生し、人の胸高近くまでに大きくなっていました。そのため、今回は「刈り込み」ではなく、枝を間引いて風通しを良くし、公園内の見通しが確保される高さ（市の維持管理の教本では低木は70cm以下）を目指し、「枝抜き剪定」を行いました。受付、挨拶の後、剪定の目的

や時期、方法をプリントを見ながら簡単に説明。引き続き実際に公園のツツジを使って伐り方や、伐る位置の実演を見学。その後、参加者全員で鋸や剪定ばさみを持って園内に広がり、ツツジを剪定しました。分からないことは聞きながら、みんなで作業をすると、園内の大きかった植込みを小さくすることができました。

伐った枝葉の処理や道具の手入れを行い、質疑応答や意見交換をして終了です。枝が整理され株内に光が差し込むと、害虫の発生やゴミの投げ捨ても減り、景観だけでなく、公園の安全面も向上することができます。

生育状況や周囲の状況によって作業の仕方は千差万別。皆様の活動場所で一緒に作業することで理解が進みます。市内で緑の活動をしている団体でしたらどなたでも出前講座の申込みができます。

まずは当協会までご相談ください。



あんなに剪定して枯れないの？ 花が咲くか心配！

・・・ということで、講習会後のツツジの植え込みを1年間記録しました。



昨年5月（剪定前）



昨年6月（剪定後）



昨年8月



今年5月

最新情報の確認について

本紙発行後に掲載されている内容について変更・延期・中止となる場合がありますので、電話等でご確認ください。

緑の活動団体訪問・自己紹介コーナー

菅町会環境整備委員会・花壇美化部会（2007年設立）

活動場所 菅1丁目及び菅北浦3丁目の花壇2カ所

交通案内 JR南武線「稲田堤駅」より 徒歩6分



菅町会は、わが国で最大級の町会と言われている、住民だけでも4万3千人を超えています。

私たちは、その菅町会の花壇美化部会が「緑の活動団体」に登録した団体です。

ところが、高齢化が急速に進んでおり、花壇担当の後継者がおりません。また、今の花壇担当も75歳を超えており、前任者は83歳でした。



私たちは2つの花壇で主に活動しています。活動で大変なことは、第2花壇の水道が50mも離れていて、夏場の灌水が大変なことです。

しかしながら、花壇に植えるメインの花苗は、町会内の園芸生産者から直接寄贈されており、しかも超A級のもので、われわれの栽培技術はなくても、「素晴らしい出来栄ですね」と通行人に褒められます。

メンバーは補植を中心に、ローメンテナンス、ローコストで頑張っています。

特に今年の春花壇は川崎区のMさんからいただいたツルコザクラの種子を自宅で育苗し花壇に植えると、評判は上々でした。また、前々から第一花壇で始めておりました、町会の方への苗配りは、第2花壇でも実施し、これも評判になっております。

（平原 照郎）

井田平台緑地（2013年設立）

活動場所 井田平台特別緑地保全地区（中原区井田2丁目1332-5ほか）

交通案内 川崎市営バス「井田」バス停から徒歩10分



井田平台特別緑地保全地区は中原区井田2丁目に位置する面積が0.3haの樹林地で、コナラ・クヌギ・イヌシデを中心とした落葉広葉樹林が広がり、モウソウチク林もあります。

井田山特別緑地保全地区が隣接し、そこで活動している「中原区市民健康の森を育てる会」が当会の活動母体となっています。

この緑地は井田地区に残された郷土景観の重要な構成要素となるとともに、人々の憩いの場所を提供し、さらに動植物の生育・生息環境としても重要な役割を果たしています。

会の行事は春には「竹林の手入れ」を主体として、保全活動竹として親竹を残して「番傘」で通れるくらいの間隔を開けて竹を間引いています。また、「エビネ」等の花が咲きますのでその周囲を手入れして、メンバーと土留めの瓦を周囲に埋め込み、間違っ



た花壇に入られないように杭を立てました。

まだ台風被害の倒木処理で、遊歩道が整備中ですが皆様がゆっくりと散歩できるように会員と協力しております。

（縄島 宏司）



いつも見慣れている公園の花壇、そんな花壇の花を紹介します。

ワンポイント

病気（ウドンコ病）について

これからの時期なりやすいのが、ウドンコ病です。
ウドンコ病の菌がついた手で、他の植物を触ると移ってしまいます。
害虫と違い、消すことが出来ないのが病気です。
殺菌剤は植物をコーティングしてウドンコ病の増殖を防ぐものです。
せっかく消毒しても、触ったりしてコーティングを剥がしてしまうとそこから
また移ってしまうので気をつけましょう。消毒する時は、出始めの菌予防にも
なりますので、殺虫・殺菌の混ざったものにすると良いと思います。



No.19 松葉ボタン * 一年草

*開花期 6月～9月
*花言葉 無邪気・可憐



日当たりの良いところを好みます。

花壇にも適しています。

色は白・黄・オレンジ・ピンク・赤・覆輪等があります。

フリーメンテナンスで咲き

続けると言う方もいますが、種が出来やすいので手入れは必要だと思います。

伸びすぎた時は刈り込んであげると、枝分かれして形良く広がっていきます。

挿し芽でも増やせますのでチャレンジしてみましょう。



No.20 アンゲロニア * 一年草

*開花期 6月～10月
*花言葉 可憐な恋



開花期が長く、夏前に植え付けておくと秋には株も大きくなり花付もすごく良くなります。

初心者でも簡単に育てられます。

価格が高いですが、その価値はありそうですね。

花の色は白・紫・ピンク・ブルー・他にもあります。日当たりは良い場所で、育てましょう。

弱点は枝が折れやすい事です。折れても脇芽が出て花をつけますが、気をつけて扱しましょう。



(株) 泉樹園^{せんじゅえん}、手塚賀久

公共の花壇を対象に誰もが知っているポピュラーな花を再認識していただくコーナーです。
このコーナーのご意見、ご要望をお寄せください。ぜひ参考にさせていただきます。